

第10回研修会開催報告

KSCD事務局

第10回研修会の開催

京滋コンクリート診断士会では、京都建築構造研究会様の支援を受け、第10回研修会を以下のとおり開催しました。当日は40名近いご出席を頂き、盛況裏に終了できました。ご出席頂きました皆さまのご支援とご協力に感謝いたします。

1. 日 時 : 平成25年6月19日(水) 午後1時30分～5時00分
2. 会 場 : 京都産業会館「きらっ都プラザ」2階 第3会議室
3. 講師・演題 : ● 谷川 恭雄 先生
名古屋大学名誉教授、NPO 法人コンクリート技術支援機構 理事長
「歴史的建造物を中心とするコンクリート系構造物の調査・診断・補修」
● 山川 博樹 先生
株式会社 M・T 技研福井事業所取締役所長 福井県コンクリート診断士会会員
「ASRにより損傷を受けた構造物の調査事例」

研修会の模様



▲参加者の方々 聴講の様子



▲山川博樹先生の講演



▲谷川 恭雄先生の講演

- 今回の研修は福井コンクリート診断士会さまのご協力により、講演が実現しました。
- 山川先生のご講演では ASR に対する新しい診断技術の紹介など興味ある内容でした。また、診断の実務に関して活発な質疑応答が交わされました。
- 谷川先生のご講演では低強度コンクリートの調査に有効な、ウィンザーピン貫入抵抗法や引っ掻き傷法によるコンクリートの強度推定式の精度について詳しい説明を受けました。その後、世界の歴史的建造物(ハギア・ソフィア大聖堂、ヴィコフォルテ教会堂、アンコールワットなど)の劣化調査と、文化財の保存と修復(オーセンティシティ)の考え方と歴史について学びました。

